

新規就業者確保対策について

南薩地域振興局 林務水産課

【背景・目的】

管内の漁業就業者数は年々減少し、20年前の4割にも満たない状況である。さらに漁業就業者に占める高齢者(65歳以上)の割合も、20年前には9%程度であったが、現在は37%と漁業就業者の高齢化が急速に進み、新規就業者の確保が喫緊の課題である。

【普及の内容・特徴】

国の支援を受けて県漁連が行う漁業担い手確保・育成緊急対策事業について、県漁連漁業担い手推進室、県漁業就業者確保育成センター及び漁協等と連携して、当該事業の長期研修制度や学生等浜辺体験制度の周知に努め、制度の導入を支援した。

(1) 制度の周知

管内漁協及び関係市を対象に事業の説明会(平成21年11月10日)を開催したほか、独自に作成した制度の要約版を用いて漁業者への制度周知に努めた。

(2) 長期研修制度導入支援

就業希望者について、研修先、研修日程等の調整を行うとともに、長期研修制度活用を検討した。長期研修制度の活用が可能な場合には、漁協(第1次受入機関)、受入漁業者(第2次受入機関)に対して研修計画の助言など長期研修制度の導入を支援した。

(3) 学生等浜辺体験制度導入支援

漁業に対する理解を深めてもらうために漁協が学生等を対象に行う魚の捌き方教室や漁業疑似体験等について、体験内容や準備資材の助言など体験制度の導入を支援した。

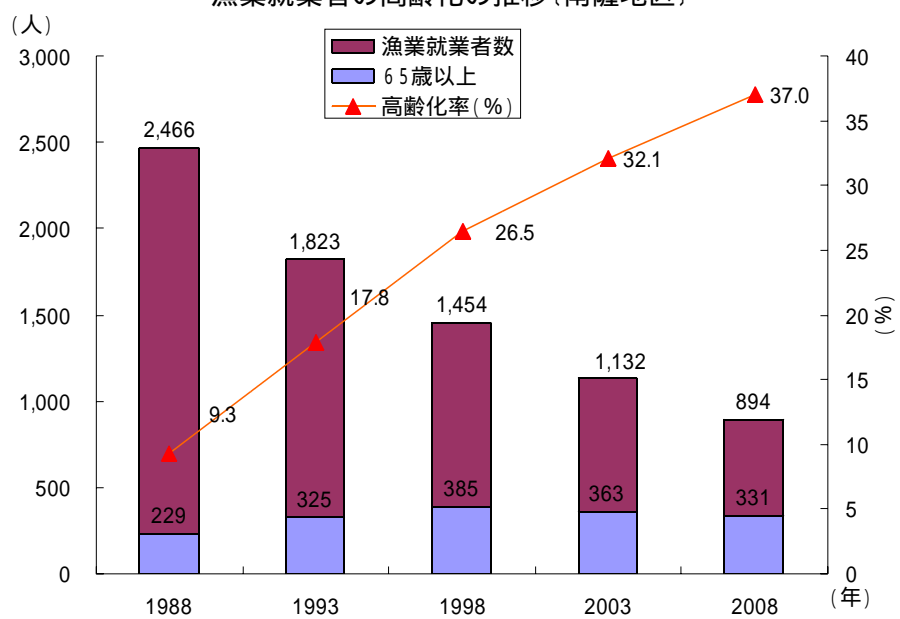
【成果・活用】

新規就業を目指して11名が4漁協11経営体で機船船曳網漁業、吾智網漁業、瀬物一本釣漁業などの研修を実施し、また、2漁協が地元小学生を対象に魚の捌き方(ハマチ)と釣り(ハマチ:700gサイズ)体験や修学旅行生を対象に定置網の網持ち体験や魚のさばき方、調理の実習を実施した。

【その他】

今後も研修制度を周知するなど、新規就業者の確保に努めることとしている。

漁業就業者の高齢化の推移（南薩地区）



資料：農林水産省「漁業センサス」



捌き方教室（指宿漁協）



一本釣疑似体験（指宿漁協）



定置網体験（かい畷い漁協）

